



# 市民が主役のまちづくりを 布目ゆきお市政直便

2011年夏号・号外

NO. 27

[編集・発行]

長野市議会議員・布目裕喜雄  
布目ゆきお後援会

## 市民が主役のまちづくり、安茂里から 未来へ。ずっと笑顔、安心して暮らすために

6月定例会市議会は6月28日、8,100万円のH23年度一般会計補正予算案及び5月末の大雨による災害復旧費14億1,900万円の追加補正予算案など16の議案を原案通り可決し、閉会しました。

### 『防災・エネルギー議会』…地域防災計画の早期見直しを提唱

今議会は、3.11大震災を受け、まさに「防災・エネルギー議会」でした。福島第一原発の事故による市民生活への放射線の影響は大丈夫なのか、原子力エネルギーから自然エネルギーの転換をどのように図るのか、震災復興による地方財政への影響はあるのか、防災備蓄は十分か、市民の安全を確保するために地域防災計画をどのように見直すのか等々、防災を根底に置いた施策の再構築が大きな論点となった議会でした。

#### ■放射線、現状では影響なし

市側は、空間放射線量や汚泥等に含まれる放射性物質は、現状では市民生活に影響がないとした上で、今後、放射線の簡易測定器を新たに導入し、消防局が保持する測定器と合わせ、生活に密着した地点での測定体制を強めたいとしています。

#### ■自然エネルギーへの転換図る

また、原子力エネルギーからの転換では、太陽光発電や小水力発電の拡充を強調する一方、市長は「原発からの撤退は理想だが、代替エネ



ルギーへの転換を考えると現実的ではない」と述べ現状追認の姿勢にとどまりました。

#### ■原発事故想定し、防災計画見直しへ

地域防災計画の見直しについては、今後、原子力災害や火山噴火を想定し、県とも調整しながら今年度中を目途に見直す方針です。

#### ■施設の耐震化、安否確認の態勢を

今後、公的施設の耐震化を促進するとともに、安否確認の体制づくりが急務です。災害時要援護者支援プランの促進などを最優先に取り組む所存です。【写真は3月議会本会議での質問より】

### 「3.11」の経験から、自然エネルギーに転換を。節電の夏へ。

制御不可能な原子力に依存する社会の在り方と私たちの暮らしを根本的に問い直す時です。原子力エネルギーから再生可能な自然エネルギーへの転換に向け、力を尽くしたいと思います。

まずは、この夏の節電です。計画停電といった事態に陥れば、市民生活への影響は深刻です。できることに取り組み、脱原発のライフスタイルを築き上げるスタートにしたいと思います。

長野市では「オール長野でピーク時節電！」と銘打って節電対策を進めています。庁舎内の昼休みを「午後1時から2時まで」にシフトしたり、冷房の間欠運転(午後帯で50%カット)、電灯の間

引き消灯などで、ピーク時の約27.6%程度の削減を図るものです。

ご家庭でも、エアコンの28℃設定、緑のカーテン設置、扇風機の活用、冷蔵庫の温度を「強」から「中」に切り替え、家電の主電源を切りコンセントを抜くなどの取り組みを進めたいものです。

#### ■8月は早朝節電議会に

長野市議会も選挙のため1カ月前倒しで開かれる8月市議会を、午前7時から開会する「早朝節電議会」にすることを決めました。傍聴される皆さんには不便をおかけしますが、趣旨をご理解いただきたいと思います。

## 住宅リフォーム補助が実現

緊急経済対策の一環で、個人住宅のリフォーム補助制度を創設。対象工事の15%、最高限度額15万円まで補助されます。申し込みは9月1日から30日まで、先着順です。詳細は長野市建設部住宅課まで(☎224-5127)

## 利用料値上げは活力喪失に 値上げ凍結を求め続ける

市では講座受講料や施設入館料、がん検診など70の行政サービスで値上げを検討。私は一貫して、苦しい家計状況に鑑み、値上げ凍結を主張してきました。結果、児童センターは無料継続、少年科学センターや博物館の入館料、がん検診受診料は据え置きになりました。

しかし、検討は継続するとされ、今後も負担増に厳しい監視が必要です。

また、水道料金の値上げでも「負担が重すぎる」と指摘、原案の下方修正を提案し実現しました。

## 地域公共交通の再生 安茂里「乗合タクシー」実現へ



地域公共交通の再生が喫緊の課題となる中、市民の足を守るため奮闘。市内路線バスの維持・利便性の向上、長野電鉄屋代線の存続を働きかけるとともに、安茂里地区ではジャンボタクシーを利用した安茂里乗り合いタクシーを実現、本格運行となりました。今後、小市方面の対策、長野駅周辺への乗り入れが課題です。

## 児童センターの拡充に努力



放課後の子どもの安心な居場所を確保するため、学校施設を利用した放課後子どもプラザの拡大に取り組むとともに、定員オーバーとなっている児童センターの拡充こそ必要と取り組んできました。今後も引き続き、力を尽くす決意です。【写真は松ヶ丘児童センター】

## 住み続けたい安茂里へ 生活環境の改善に取り組む

生活道路や側溝・水路の改修、通学路の安全を図るため、毎年、区長さん達とともに現地調査を実施。100%とはいきませんが、住み続けたい安茂里に向け、生活環境の改善に取り組んできました。

JR安茂里駅踏切の拡幅【写真】、国道19号の歩道整備、マンボ橋の改修【写真】に向け、引き続き

力を尽くします。犀川堤防は完成(1部未着工)。差出南の旧食肉センター跡地の公園建設は、今年度から予算が付き事業が始まります。

## 市民会館建て替え、 権堂から現在地に転換を主導

第一庁舎・市民会館の建て替え問題では、当初から市民会館の権堂案に反対し現在地での建設を提唱、建設地転換をリードしてきました。

そして今日、大震災を踏まえ、第一庁舎は防災拠点として最優先で建て替えを、市民会館は将来に先送りをと提案しています。市民が直接、政策決定に参画する住民投票条例には賛成する意向を表明しています。

## 議会改革の先頭に 議会基本条例制定をリード

議員の不祥事を契機に、議員の政治倫理条例を制定するとともに、議会の『憲法』である議会基本条例の制定をリード。

議会に対する不信、厳しい視線を真摯に受け止め、議会自身がこれまでの在り方を謙虚に見直し、もう一つの住民意思を代表する機関、自治立法を担う自治体の意思決定機関として活性化し、市民の信頼を取りもどすために全力を尽くす決意です。

**地元安茂里を原点に  
長野市の将来を見つめ  
市民の幸せを願って行動します**